

「小さくても持続可能なまち」の実現に向けて

令和3年第一回定例議会が、3月2日から11日までの日程で開催され、初日には町長の施政方針が述べられました。施政方針では、令和2年度からスタートした第6次長期総合計画に掲げた将来像、「小さくても持続可能なまち」を豊かさや幸せを実感できる住み心地100点のまちを目指し、「安心づくり」「仕事づくり」「人づくり」「環境づくり」「つながりづくり」の5つの基本方針に沿って予算を編成し、議会に説明を行いました。その内容を要約し、令和3年度の主な事業を紹介します。

安心づくり

若者定住支援

雇用創出助成事業、町外通勤者応援事業、結婚新生活応援事業、民間賃貸住宅家賃助成事業、次世代リーダー定住育成事業を継続して実施し、若者定着による地域活力を維持するための環境づくりを進めます。

被害防止施設購入費の助成、住居周辺の果樹木等の伐採に対する助成を行います。

林業の振興

森林経営管理制度を活用した森林環境の整備、流域育成林整備事業を始めとする補助金を活用した森林育成・活用を推進していきます。

また、道ばた林業による民有林の低コスト化、未利用材のチップ化等による資源の有効活用を図り、林業経営の安定化を推進します。

南蔵王エリア再整備事業

交流人口の拡大による地域活性化を図るため、長老湖から不忘平和記念公園をつなぐ散策路整備工事を実施します。



子育て支援

子育て応援支援金支給制度、子ども医療費助成事業、保育料及び学校給食費の無料化を継続して実施し、子育てしやすい環境づくりを進めます。



人づくり

子ども教育

保・小・中の連携した教育を行うために、学校訪問を行い接続をスムーズにするなど指導の連携を図るほか、複式学級に対応するため学校支援員を配置するなどの工夫を引き続き行っていきます。また、関保育所を建替えるための、基本設計に取り組みます。

外国語教育

外国語指導助手を活用し新たに教科となる小学校英語への対応やコミュニケーション能力の向上を目指します。

社会教育

各年代のニーズに応じた学習機会を提供するため、各種講座や事業等を展開し、町民のスキルアップや地域の活性化に努めます。

高齢者支援

訪問やケアプラン作成等を通じて、高齢者の見守り支援事業を継続し、高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進します。

障がい者支援

障がいを持つ人が自分らしく生活ができる共生社会の実現を目指し、支援及び施策の推進を図ります。

各種健診事業

住民健診等の無料化、予防接種費用の助成や、20代人間ドック、30代からの歯周病検診、40代からの脳ドックを実施し、住民健診の充実を図ります。休日等の電話による健康相談事業を24時間体制で継続して実施するほか、産後ケア事業等の育児支援を行います。

環境づくり

道路維持

町道の管理、冬期における通学路等の安全確保、バス路線、生活路線の安全確保と適切な維持管理を図ります。

道路整備

定期的な安全確保を図るため、橋梁点検及び長寿命化修繕計画の見直しを行うほか、舗装補修等維持工事を実施します。

公営住宅の整備

地域担い手づくり支援住宅2棟の建築を行うほか、各種住宅の管理、新築や改修、空き家対策に対する助成事業を行い、住環境の整備を支援します。

また、空き家モデル事業により、様々な活用を提案して改善に取り組んでいきます。

仕事づくり

農業の振興

中山間地域にあったブランド米づくりとともに、担い手の作業効率の向上と荒廃農地抑制のため取り組んできたほ場整備を引き続き推進します。また、中山間地域等直接支払交付金事業と多面的機能支払交付金事業を併せて取り組み、本町として将来に残すべき優良な農地を確保しながら、集落活動の活性化を図るため、事業の円滑な活動ができるよう支援します。

有害鳥獣対策

県域を越えた広域的な事業展開を実施するほか、追い払いパトロールと地区別追い払いを継続して実施し、農作物の被害防止に努めます。また、狩猟免許取得費及び

つながりづくり

元気な地域づくり交付金

地域の身近な課題解決や交流促進、空き家の活用を図る取り組みなどの地域づくり事業に交付し、自主的な話し合いのもと、安心して生活できる地域を目指します。

当初予算のあらまし

令和3年度当初予算のあらましについては、別に配布する「ことしの仕事・町の家計簿」をご覧ください。

